⑭ どんぐりの 円盤ゴマ

1　子どもたちに伝えたいこと

・身近なもので、自分で遊び道具を作り楽しむ経験をする。

・回転体はいかにバランスをとることが重要であるかを、身の回りのものと比較してみる。

2　実施時期：９月～１月

3　実施場所：室内

4　対象学年：低学年向き

5　関連教科：図工、生活科、総合

6　時数：１時限

7　事前準備

・円盤用の厚紙の用意（厚紙にφ６０mm～１００mmの円を描き、中心に１０mm幅の十文字の切込みを入れる。児童の数だけ用意）

・どんぐりの穴あけ（ピンバイスで爪楊枝が差し込める穴をあける）

＜どんぐりコマ＞

8　当日

（1）準備する材料や道具

学校：円盤用の厚紙、爪楊枝、ハサミ、ポスカ（クレヨン）

どんぐりクラブ：どんぐり、グルーガン、ポスカ、コマのサンプル

（2）授業の流れ

① あいさつ

② どんぐりの話

③ サンプル（よく回るコマ、回らないコマ）を提示

④ 作り方の説明

・材料の点検

・注意事項

⑤ 作業

・厚紙から円盤を切り抜く。

・円盤に色をぬる。

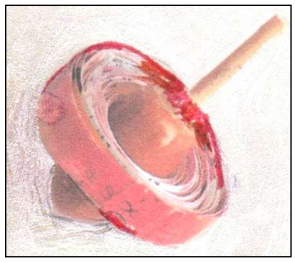
・どんぐりの穴に爪楊枝をさす（うまく付かないときはグルーガンでつける）。

・どんぐりコマを円盤の切り込みに差し込む（うまく付かないときはグルーガンでつける）。

⑥ 各自で回しながら、コマを調整する。

⑦ 終わりのあいさつ

＜円盤つきコマ＞



＜紙を巻いたコマ＞

9　備考

・どんぐり単体では完全にバランスが取れていないと回らないが、円盤コマは時間差があるものの皆回る。

・円盤上の色の組み合わせによって、絵の具を混ぜ合わせた色が再現できる。

・どんぐりに紙（６mm 幅）を巻くとバランスがとれて、非常に良く回るので試してみよう。